

城西大学における2021年度入学者選抜について（予告）

城西大学は、2021年度入試制度改革に向けて、下記の「学力の3要素」を多面的・総合的に評価することを目的として、2021年度入学者選抜（2020年度実施）の入試区分、選抜方法、判定科目、募集人数などを変更いたします。詳細については、随時本学ホームページの受験生サイトに公表します。

<学力の3要素について>

全ての入試区分で学力の3要素について評価します。

- ① 知識・技能
- ② 思考力・判断力・表現力
- ③ 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

<入試区分の変更>

2021年度入学者選抜より現行の入試区分を次のように変更します。

2020年度までの入学者選抜の入試区分	2021年度以降の入学者選抜の入試区分
1. AO 入学試験	1. 総合型選抜
2. 推薦入学試験 (指定校推薦・スポーツ推薦入試を含む)	2. 学校推薦型選抜 (指定校推薦・スポーツ推薦型選抜を含む)
3. 一般入学試験	3. 一般選抜
4. 大学入試センター試験併用型一般入学試験	4. 一般選抜 大学入学共通テスト併用選抜
5. 大学入試センター試験利用入学試験	5. 一般選抜 大学入学共通テスト利用選抜

1. 総合型選抜

総合型選抜では、調査書、志望理由書などの出願書類に加えて、一定の学力を確認するための小論文、課題レポート、基礎学力に係わる筆記試験などを実施します。また、主体性、協働性を多面的・総合的に評価することを目的として、プレゼンテーションや面接（口頭試問等を含む）なども評価項目に加えます。ただし、これらの評価項目は学部・学科や募集単位によって異なります。

2. 学校推薦型選抜

学校推薦型選抜（指定校・スポーツ推薦型選抜）においては、推薦書、調査書、志望理由書の出願書類を中心に、知識・技能、思考力・判断力・表現力などを総合的に評価します。また、主体性・協働性を評価するために、面接（口頭試問等を含む）を実施します。

3. 一般選抜

一般選抜では、大学独自の筆記試験（主にマークシート式）を中心に知識、思考力、判断力、表現力を評価します。~~出題科目のうち、国語および数学では、記述問題も出題する予定です。~~また、調査書も**出願書類**として活用し、総合的に学力の3要素を評価します。

4. 一般選抜 大学入学共通テスト併用選抜

一般選抜大学入学共通テスト併用選抜では、大学独自の筆記試験（主にマークシート式）に大学入学共通テストの受験科目を加え判定科目とします。判定科目については、学部・学科や募集単位によって異なります。また、調査書も**出願書類**として活用し、総合的に学力の3要素を評価します。

5. 一般選抜 大学入学共通テスト利用選抜

一般選抜大学入学共通テスト利用選抜では、大学入学共通テストを主体に、知識、思考力、判断力、表現力を評価します。判定科目については、学部・学科や募集単位によって異なります。また、調査書も**出願書類**として活用し、総合的に学力の3要素を評価します。

~~＜一般選抜における大学入学共通テストの記述式問題について＞~~

~~一般選抜で活用する大学入学共通テストにおける国語および数学での記述式問題の取り扱いについて、国語の記述式問題は段階別の成績表示結果を点数化し、マークシート式問題に加えて評価の対象とします。数学の記述式問題は、従来のマークシート式問題と同様の扱いとし評価します。~~

＜英語の資格・検定試験について＞

大学入試センターが認定した英語4技能「読む」、「聞く」、「話す」、「書く」に関する資格・検定試験については、英語が判定科目に含まれない場合でも、CEFR対照表に基づく全ての英語資格・検定試験の段階別表示（レベル）「A2」以上を加点対象としていましたが、**加点による評価を延期します。**なお、英語の資格・検定のスコアは、**＜活動の履歴や主体性の資料＞**として活用しますので、**コピーをご提出ください。**

＜活動の履歴や主体性等の資料について＞

城西大学では、学力の3要素のうち、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価する目的で調査書の記載事項にある学習成績の状況だけでなく、蓄積された高校時代の部活動、ボランティア活動、生徒会活動、フィールドワークなどの特別活動、総合的な学習の時間の内容・評価の記録、資格・検定などを活用します。また、Japan e-Portfolioを活用します。

※文部科学省による「大学入試英語成績提供システムの導入見送り」（2019年11月1日発表）および「大学入学共通テスト記述式問題見送り」（2019年12月17日発表）が決定したことから、公表内容を見直すことといたしました。